

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

広報とえだ

Soeda
Public
Relations



平成最後の夏、
光って咲いた大輪の花

●とえだ花火大会（詳細は8ページ）

SEP.2018

9

No.683



今年で34回目を迎える添田町少年アドベンチャー。出発前、台風12号による交通機関の乱れはなく、7月30日から8月3日までの4泊5日で総勢49人は富士山・東京へ向けて、出発しました。

大きな荷物を抱え、新門司港でフェリーに乗り込み、アドベンチャーの始まりです。夕食と入浴をすませた後、デッキへ出て潮風にあたったり、並走する船や沈みゆく太陽をバックに写真を撮ったりと船上での時間を満喫しました。

フェリーが到着した大阪南港からはバスに揺られること6時間。登山の出発点となる富士山5合目スバルライン登山口を目指します。車中では、これからの登山に備え、映画を見たり、休憩をとったり、思い思いに過ごしました。

標高2300メートルにある富士山5合目スバルラインには、予定より約1時間遅れで到着。そこで今回の富士山登山で団員のお世話してくれる登山ガイドの皆さんから説明を受け、高度に体を慣らすため、一時間ほどその場に滞在しました。

いよいよ、登山の始まりです。ガイドさんのペース

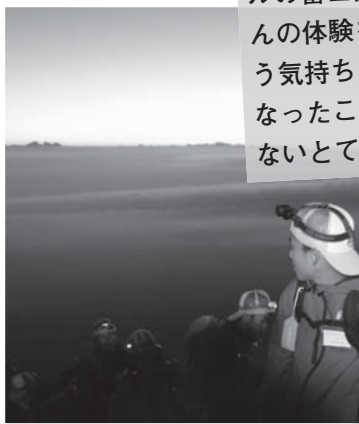
日本一にチャレンジ!! ぼくたち、わたしたちの本気の夏



少年アドベンチャー in 富士山・東京

7月30日から8月3日まで少年アドベンチャーが行われました。今年は、日本最高峰3776メートルの富士山に挑戦。団体生活や登山などたくさんの体験を通して仲間と協力することや助け合う気持ちを持って過ごしました。記録的猛暑となったこの夏、子どもたちにとっても忘れられないとても暑い5日間となったようです。

【富士山】静岡県と山梨県にまたがる日本最高峰の山で標高は3776メートル。その優美な風貌は日本国外でも日本の象徴として広く知られている



↑日本一の富士山登山。ガイドのペースにあわせ、みんなで励まし合いながら全員登頂しました →午前3時に本7合目の山小屋をスタート。しばらく歩を進めると次第に空が明るくなり、雲の下から太陽が昇ってきました

に合わせて、班ごとにゆっくりにゆっくり登っていききました。約4時間で、標高約2900メートルの本7合目の山小屋・鳥居荘に到着しました。

この日の夕食は、富士山山小屋の名物カレー。とてもおいしく、おかわりをする団員もいました。明日も朝が早いので9時に就寝です。寝場所は、ひとりに布団1枚のスペースのみです。すぐ横には、ほかの団員がいますが、登山の疲れなどもあってぐっすり眠りました。

登 山2日目は、午前3時に起床しました。思っていたよりも寒く、防寒対策をし、ヘッドライトを装着。眠い目をこすりながら再び登山を開始しました。真っ暗な中、山頂に向けて、連なる懐中電灯の明かりを頼りに指導員、班員と声を掛け合いながら登りました。

し ばらく登ると遠くの地平線が見えるうちに神々しい光で明るくなってきました。ご来光です。美しい光につつまれた見たこともない幻想的な風景をみんなでしばらくじっと眺めていました。

すっかり太陽も顔を出し、晴れ渡った真っ青な空の下で、再び、頂上を目指します。歩みを

進め高度が上がってくると団員の体調の変化が生じ、きつくなってきました。しかし、ほかの団員や指導員らが呼吸法を教えたり、あともう少しで休憩だからと励ましあったりしながら、ゆっくりと頂上を目指しました。

頂 上まであと一息。最後の力を振り絞って、ついに頂上へ着きました。「やった!! 登れた!!」とみんな達成感でいっぱいでした。山頂では火口の見学、写真撮影をして富士山頂郵便局で手紙を投函。1時間30分かけて富士山頂の火口の周りを一周するお鉢巡りをする疲れ知らずの元気の良い団員たちもいました。

登りとは別ルートとなった下山では、体力を振り絞り、疲れきった足でしっかりと地面を踏みしめながら5合目へたどり着きました。ここで、お世話になったガイドの皆さんとお別れ。ガイドさんは「一人の脱落者も出ずに全員で登頂できたのは非常に珍しい。みんなで支えあった結果」と、関心していました。

4 日目は、東京へ。まずは、世界一高い電波塔の東京スカイツリーを見学。地上350メートルからの景色やガラスの床に乗って足元に広がる鉄骨など

4日目と5日目は東京見学

みんなで、いろんなことを学びました



世界一の高さ、東京スカイツリー

←建造物としては日本一、電波塔としては世界一の高さ634メートルの東京スカイツリー。高さ350メートルの展望デッキから眼下に広がる東京を一望しました



東京名所のひとつ、浅草寺の雷門



自然科学を学んだ国立科学博物館

←「日本列島の自然と私たち」がテーマの日本館と「地球生命史と人類」がテーマの地球館。地球館に展示されている大迫力の恐竜の化石に圧倒されました

Photo

じみ はなこ
自見英子参議院議員に会いました

5 日目の最終日は、国会議事堂参議院を見学しました。まずは、参議院本会議場を見学。その後は、開会式の当日、陛下は議事堂にお着きになると、まずお入りになられる「ご休所」を見学。さらに赤じゅうたんを進んでいくと議事堂で一番高い中央塔の真下にある中央広間に出ました。ここでは、議会政治の基礎を作るために功勞のあった板垣退助、大隈重信、伊藤博文の銅像が見ることができました。見学の最初と最後には、自見英子参議院議員が会いに来てくれて、みんなを激励し、国会議事堂をバックに一緒に記念撮影に応じてくれました。

日本一の富士山に本気でチャレンジした今年の夏。団員たちは最後まで頑張ることの大切さやみんなで協力しながら最後までやり遂げることの素晴らしさ、達成感を味わいました。暑かった夏、ひと回り成長し、心に残る最高の熱い思い出ができたのではないでしょう。





町長室を訪問し、山口町長にあいさつ

羊毛でポーチ作りに挑戦

旧国鉄・美幸線跡を走るトロッキ列車に乗車

教育交流事業として、8月7日から10日までの3泊4日の日程で、堺裕明団長（添田小学校長）と町内の小学生5人、引率者の計7人が美深町でホームステイを行いました。早朝、寺西町長らから見送られて、添田町を出発。福岡空港から新千歳空港を経由し、約11時間で美深町に到着しました。受け入れ家庭との対面では、緊張気味だった子どもたちも、家族の皆さんが温かく迎えてくれ、すぐに打ち解けることができました。2日目、みんな楽しみにしていた旭山動物園に出かけました。迫力あるホッキョクグマやエゾシカ、フクロウなど北国の動物を目の前で見ることができ、大喜びでした。次の日は、美幸線だった本物のレールの上を約10キロ、白樺の木々の間を抜けながら風を切って走るトロッキ列車に乗車。また、美深産の羊毛を使って、オリジナルの羊毛クラフトに挑戦しました。最終日には「来年、添田町で会いましょう」と再会を誓い合い、最後のお別れをして添田町へ帰りました。受け入れ先の家族や友だちとの出会い、気候や文化の違いを学び、体験することができた今回のホームステイ。その思い出が心に刻まれ、一生忘れられない大切な宝物となったことでしょう。

美深町開拓120年 ようこそ、親善訪問団の皆さん

北海道美深町

姉妹町北海道美深町

末永い交流を誓い合う

姉妹町の北海道美深町の親善訪問団が8月4日から2日間の日程で本町を訪れました。今年は美深町が開拓から120年の記念であることから、山口信夫町長をはじめ、南和博美深町議会副議長、農業や観光、商工会関係者、地域の皆さんなど32人が来町。昨年オープンした、人気のイタリアンカフェ「ヒシミツ」で昼食をとり、その後は、英彦山神宮を訪れて正式参拝をしました。また、道の駅飲遊舎ひこさんのキッチン農家で、本町の関係者も出席して歓

迎交歓会が行われ、添田町産の野菜をふんだんに使った食事を楽しみながら交流を深めました。さらに、訪問団の皆さんは、そえだ花火大会に参加。ステージ上で寺西町長と山口町長が、お互いの町の発展と末永い交流を誓い合いました。



1

1 歓迎交歓会を前に参加者全員で記念撮影をしました／2 歓迎交歓会で記念品の目録を交換する両町長／3 そえだ花火大会では、訪問団の皆さんがステージに上がり、友好の絆をさらに深めました



2



3



◎北海道美深町ホームステイレポート

友に会えた北の大地の夏

昭和56年から姉妹町として交流してきた添田町と北海道美深町。今年は夏を迎えた北の大地で小学生5人がホームステイし、思い出に残る体験をし、友だちに会えました。



●大会史上最多の700人が英彦山路を駆け抜けます

英彦山サイクルタイムトライアル大会 &ご当地グルメフェア

第28回英彦山サイクルタイムトライアル大会

●と き **9月30日**日
9時40分～(クラス別にスタート)

●コース 添田小学校前～英彦山豊前坊
※当日の交通規制にご協力ください。

ご当地グルメフェア

●と き **9月30日**日
10時～15時

●ところ 町体育館駐車場

●内 容 添田、田川のおいしい地元グルメが大
集合。家族みんなでお越しください。

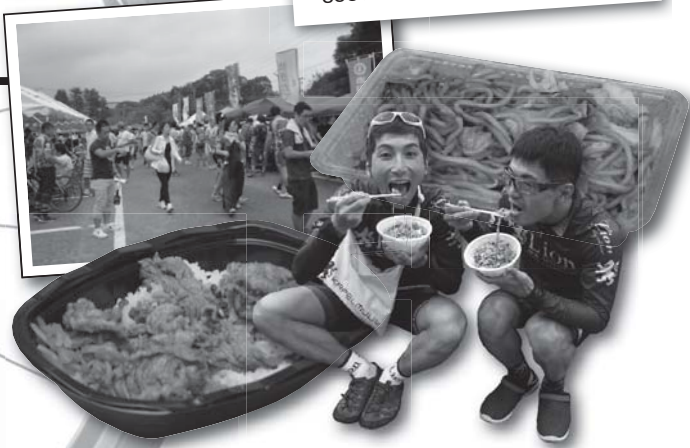
▶出店一覧

店名	販売品目
添田町商工会女性部	ジュース、飲料
PANET	チーズバーガー、ホットドッグ、 エビ(4種)、菓子パン
酒か菜処 千	カルビー丼
香牛かれー香壺	香りかれーらいす
仕出しゆうざき	ホルモン焼そば
居酒屋しゃも	やき鳥丼、ドリンク
ストロベリーコーンズ 田川中央店	ピザ各種(Sサイズ)、ドリンク各種
サーティーワン アイスクリーム	アイスクリーム各種(コーン・カップ)
福太郎(株) 添田町めんべい工場	徳用われせん(プレーン・マヨ・ねぎ)
手づくりこんにやく 英彦山 平田屋	さしみこんにやく、串こんにやく、煮卵

※販売品目は都合により、変更になる場合があります



臨場感たっぷり!! 大会当日は、
レースの模様を3地点からインタ-
ネットで生中継します!!
【配信 URL】
⇒ [http://www.kiai.gr.jp/
soeda/timetrial2018.html](http://www.kiai.gr.jp/soeda/timetrial2018.html)



店名	販売品目
彦山羊羹秀島商店	バナナ羊かん、彦山羊かん、 田舎羊かん、 昔羊かん
楠本菓子店	りんごパイ、マフィン、草団子、 炭鉱ようかん
篠崎川魚店	山女塩焼
英彦学園	からマヨ丼
阪本農園	かぼちゃプリン、さつまいもプリン、 野菜チップス、もっちり蒸しパン
ゆめや	あげたこ、コットンキャンディー
スモークアート平田	ウィンナー、スモークチキン、豚バラ、 豚足
添田町	ライスバーガー、英彦山サイダー、 ピザバーク
いも娘	サツマイモスティック、フライドポテト、 わたがし
コロコロ炭焼亭本舗	牛炭火焼、鶏炭火焼

1 日が落ちて、あたりが暗くなっても続いた訓練／2 本番前に寺西町長から激励を受ける消防団員／3 訓練のすべてを出し切ろうと緊張の面持ちで整列する選手たち／4 「操作始め」[よし]53メートル先の放水地点までホースを抱えてダッシュする指揮者と1番員。節度とスピード、チームワークなどが求められるポンプ操作／5 消防はチームワークが命。それぞれが無駄のない機敏な動作で操法技術を披露／6 放水を続ける1番員と姿勢を保ち、とび口を構える2番員



添田町消防団の熱い夏 燃える火消し魂

【第25回福岡県消防操法大会】

7月22日、福岡県消防操法大会が嘉麻市の県消防学校で行われ、田川郡代表として添田町消防団が小型ポンプの部に出場しました。

40秒に全てをかけた消防団の本気の夏
福岡県消防操法大会は、消防団員の消防技術向上と士気の高揚を図り、地域における消防活動を充実させるため、2年に1回開催され、各地区代表の消防団がその技術を競うもの。今回、添田町消防団が田川郡代表として14年ぶりに出場

豪雨の後、記録的な猛暑となった今年の夏。その中で、田川地区消防署員による指導のもと、各分団から選抜された8人の選手が厳しい訓練を行ってきました。福岡県消防操法大会に小型ポンプの部で14年ぶりに出場した添田町消防団(田中久美男団長)。3月から約4か月間、選手たちは体力づくりを行い、操法動作一つひとつの節度やスピード、4人の連携など徹底的に鍛え上げられました。厳しい訓練が続き、体が疲労で限界に達したり、教わったことと思うように出来なかったりと苦労はありました。その選手を支えてきたのが訓練に駆けつけた団員たちです。選手が持ちやすいよう、しっかりとホースを巻き、また、これまでに培ってきた技術を伝え、時には厳しく、指導することもありました。

7月22日、厳しい暑さの中、精悍な顔つきで嘉麻市の県消防学校に集まった選手たち。大会には、寺西町長や浦野洋一郎消防長、田川郡の各消防団長らも激励に駆けつけてくれました。120人を超える応援団員が見守る中、「操作始め」。松崎陽一郎指揮者第6分団の気合に満ちた声が会場に響きました。ポンプにホースをつなぎ、的に放水。この間、わずか40秒に訓練のすべてをぶつけました。入賞こそ逃しましたが田中団長は「2年続けて豪雨、その後の猛暑。厳しい環境下での訓練を通して、添田町消防団が一丸になった」と語っていました。機敏な動作と操法技術、不屈の熱き消防魂を見せてくれた添田町消防団。その団結力は、火災や災害などの発生時に活かされるに違いありません。

7 暑い中、夜遅くまで指導してくれた田川地区消防署員の皆さん／8 大会当日、約120人の消防団員が応援に駆けつけました／9 選手と消防団幹部の皆さん





身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



茶道で学ぶ、礼儀作法やおもてなし じどうかんクラブ茶道教室

夏休み期間中、4回にわたり、表千家茶道教授清水十六子さん(町三)を講師に、じどうかんクラブ茶道教室が開かれました。8月24日は小学生5人が参加し、少し緊張した面持ちでお茶の点て方や歩き方、茶碗の持ち方といった茶道の礼儀や作法、おもてなしの心を学び、日本の伝統文化である茶道の基本を身に付けていました。



↑ 茶道の礼儀や作法を一つひとつ丁寧に学びました

夏休みの子どもたちと昔遊び楽しむ シニアパワーアップ塾

シニア世代の皆さんの豊かな知識や経験、技能を活かし、ボランティア活動などに参加するきっかけをつくるシニアパワーアップ塾。夏休み期間中は、地域の学童保育所を訪れ、子どもたちの勉強の見守りや昔遊びに親しんでもらうため、カルタやすごろく、けん玉、コマまわしなどを一緒に楽しみ、交流を図っていました。



↑ 8月16日、落合学童保育所でカルタをする皆さん

おいしくて栄養満点の朝ごはん作り 朝ごはん簡単クッキング

7月26日と27日、オークホールで、小学生と中学生を対象に、朝ごはん簡単クッキングが行われました。26日は、小学生とその保護者が、カレーそばや丼など4に挑戦。27日は、中学生がオムレツ入りトーストなどを作りました。忙しい朝でも簡単に作れるものばかりで、生徒たちは友だちと協力しながら手際よく調理していました。



↑ 友だちとわいわい作った朝ごはんの味は格別です

ネットで差別を受けたらどうするか 河村健夫さん人権講演会

同和問題啓発強調月間期間中の7月26日、オークホールで弁護士の河村健夫さんを講師に人権講演会が行われました。「ネット社会と人権」と題した講演で河村さんは「インターネットが普及し、ネットによる差別書き込みや名誉き損が激増している。被害を受けたとき、早期に対応することが重要である」と語っていました。



↑ 違法な情報が専門家の意見を聞くことが重要です

飛び交う声援、繰り広げられる熱戦 第57回添田町子ども会球技大会

7月22日、添田町子ども会育成連合会の子ども会球技大会が町体育館で行われました。各地区から約150人が参加し、ドッジボールで熱戦を繰り広げ、子どもたちがボールを投げるたびに、保護者から声援や指示が飛び交い、大会は終始盛り上がりを見せていました。



↑ 力を出しきり、チームワークで勝利を目指せ

災害時一人ひとりが出来ることを 災害支援を考える研修会

7月27日、オークホールで災害支援を考える研修会が行われ、民生委員や介護職員など約40人が参加しました。7月の豪雨での体験談を発表したり、避難の問題点などをグループで話し合ったりし、災害時の連携や、日ごろのコミュニケーションの重要性を確認しました。



↑ 豪雨から学んだことを語る民生委員の赤間徳夫さん

↓ 「生前、父はよく添田町のことについて話していました」と語る長男の宮城浩さん



地域の虫歯予防や早期治療に尽力 故・宮城二郎さん瑞宝双光章受章

今年2月22日に亡くなられた、故宮城二郎さん(添田中)が、地域の歯科医療の推進と歯科衛生の向上に尽力した生前の功績が認められ瑞宝双光章を受章しました。宮城さんは、昭和39年、本町に歯科医院を開業し、地域に密着した歯科医として、長年にわたり本町の歯科医療の推進に尽力しました。特に添田町の学校歯科医として50年以上、小・中学校で児童・生徒の歯科検診を行い、虫歯の早期発見や予防のための適切な指導、助言を行っていた宮城さん。平成27年に福岡県教育文化表彰、平成28年には文部科学大臣表彰を受賞しました。8月5日、寺西町長に受章の報告に訪れた長男の宮城浩さんは「今回は大変、名誉な章をいただき、父も喜んでいと思います」と語っていました。

最後の大会で県大会・九州大会へ 男子バスケット部・女子バレー部・陸上部

3年生にとって最後の大会となる中学校総合体育大会が行われ、添田中学校では男子バスケットボール部が筑豊地区大会で4位となり、県大会への出場を果たしました。女子バレーボール部は筑豊地区大会5位の成績を収め、2年連続で県大会出場。県大会では、両部とも惜しくも初戦で敗れましたが、抜群のチームワークと気迫あふれるプレーで熱戦を展開し、会場を沸かせました。陸上部3年生の須山瑛裕さんは200mと400mで県大会に出場。そのうち400mでは2位に輝き、九州中学校陸上競技大会出場を決めました。8月9日、佐賀市で行われた九州大会では、予選を2位で通過。決勝では入賞こそ逃しましたが、猛暑による体調不良を感じさせない、見事な走りを見せてくれました。

↓ 寺西町長へ報告に訪れた男子バスケット部①、女子バレー部⑥、陸上部の須山さん⑧



↓ 会場には、町内外からたくさんの方が訪れ、大迫力の花火を楽しんでいました



夏の夜空に咲いた5千発の花火 そえだ花火大会

暑い1日となった8月4日、そえだサン・スポーツランドで、そえだ花火大会が開催されました。筑豊出身のお笑いコンビ土居上野を総合司会に、女性イリュージョンチームWISHによるステージイベントが行われました。また、今年は姉妹町北海道美深町から、開拓120周年を記念し訪問団が訪れ、ステージを盛り上げました。間近で見る5千発の花火の打上げは圧巻で、訪れた4500人の来場者からは、歓声や拍手が沸き起こり、楽しい夏の思い出の1ページとなったようでした。



↑ 大盛り上がりしたイリュージョン



まどか
初井 栞ちゃん
9月8日生 ②・上中元寺

おてんば栞ちゃん。いつもニコニコ家族を笑顔してくれます^^お姉ちゃん。お兄ちゃんと仲良く！元気に育ってくださいね♡



こう
宮城 輝ちゃん
9月4日生 ③・町四

活発でわんぱくな輝くん。3才になったね、おめでとう♡たくさん食べて、健康で明るい子に育ってね◎

10月生まれは、9月14日㊦までに投稿ください！



3歳までのお子さん募集中です

お子さんの写真にメッセージを添えて、役場総務課広報・秘書係まで持参してください。下記のアドレスから、メールで投稿することもできます。

㊦ 役場総務課広報・秘書係(☎ 82-1231)

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先

koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

いつまでも元気に長生きしてください

平成30年度 添田町敬老会



●とき 9月16日㊦・17日㊦祝
(開会10時30分～)

▷ 16日㊦ 大字添田、庄

▷ 17日㊦祝 大字津野、英彦山、落合、樹田、中元寺、野田、町内高齢者施設

●ところ オークホール

●対象者 75歳以上の人(昭和19年4月1日以前に生まれた人)

●内容 式典、記念品贈呈、会食、アトラクション、福引抽選会

㊦ 役場保健福祉環境課高齢者支援係(☎ 82-1232)

まちかど特派員投稿



日本武道道武心会龍繫杯 鍛錬の成果を発揮し、好成績

林寛仁さん(下中元寺)からの投稿です

日本武道道「武心会」の第12回龍繫杯が7月8日、香春町で行われ、組手や型、高蹴りの競技に県内外の小学生から一般まで、約100人が参加しました。日頃の練習で鍛えた技術や精神を発揮して好成績を収めた添田支部の選手たち。団体戦の組手競技(小学生の部)では、鶴丸ゆきさん、井上陽路里くん、畑中陸斗くん、斉藤祐成くんのチームが昨年に引き続き、準優勝を飾りました。



↑日頃の練習で鍛えた技や技術、披露し、好成績を収めました

スイスの世界大会会場でプレゼント 高校生が折り紙のコマで国際交流

添田中出身で西田川高校1年生の吉田桃花さん(峰地北)が作った折り紙のコマが7月4日から15日にかけて、スイスで開催されたラジコン模型飛行機の世界大会の会場で各国の選手やその家族などにプレゼントされました。添田中に通っていた2年前、家庭科講師の安藤ひとみさん(庄中)から夫の由隆さんが出場する世界大会に同行する際の日本文化の紹介や国際交流について相談を受けた吉田さん。そこで、回して遊べ、3枚の色紙を使うため色とりもカラフルな折り紙のコマを配ることを提案しました。吉田さんは、1年かけて3種類の大きさのコマを約500個を作成し、安藤さんに手渡しました。スイスの会場では吉田さんがコマを作っている写真を展示してコマを来場者にプレゼント。コマは好評で約50人が色紙に母国語でメッセージを書いてくれました。帰国後、色紙を渡された吉田さんは「喜んでもらえて嬉しい。国際交流ができてよかった」と笑顔を見せていました。また、由隆さんが日本代表団の団長として臨んだ世界大会は約20か国が出場。実存した航空機を縮尺して制作したラジコン模型飛行機を空軍の滑走路で飛ばし、出来栄えや飛行技術を競い、日本は6位と健闘しました。



↑コマの前に、色紙を手にする吉田さん㊦と安藤ひとみさん㊦



↑世界大会の滑走路に立つ由隆さん㊦と日本代表団の皆さんたち

文芸歳時記



【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

おばあちゃん長生きしてねひろきよりと

遠くの孫ゆ便り届きぬ 大塚 成子

大ぶりの器にたっぷり茶碗蒸し

銀杏二個がとてもおいしい 五十嵐田鶴

早苗田はもはや大きく株を肥は

深々みどりの青田となりぬ 大塚 富江

英彦山へ登る道々合歡の花

うすも色の花の愛らし 平井 朝子

誌友会に皆集まりて語り合ふ

あらもう時間次を楽しみ 木村 寛子

グリーンピースに二つの卵ほぐし綴づ

綾なす彩に心充つ季 福富 廣枝

燕来て古巣の修理始めたり

徳利に似たり笑ひの湧きくる 荒巻ミサ子

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

太陽を呑みこむ如くラムネ飲む 諫山 静香

石崖は坊の跡らし登山道 鈴鹿 雅子

長らへば見送ることのみ夏椿 安永 藻香

新聞紙匂う朝から蟬の声 池 三太

「角打ち」が辞書に加わり夏に入る 牧野八寿子

朝顔を見せてやりたし寝坊の子 武田 晴子

作業着を洗う漢の裸かな 森田 竹子

流木や裸婦のごとくに横たわる 大池みどり

【俳句 投稿】

軒端吹く風にも秋の気配して 濱田イサオ

風鈴の音は夢の中聴くばかり 成松 義紀

茂りある闇にルルドのマリア像 島津余史衣

戻る子にパン生地寝かす麦の秋 柴田 一世

ダンス教室とび出す朱夏の少女たち 斎藤智寿子

むらさきにけむる藤川麦の秋 天野ユキ海

灼熱の御霊の慰霊原爆忌 立花 克明

【短歌 投稿】

亡き母の指は吾より細きゆえ

永久に指輪は手に乗せ眺む 櫻木マサ子

あかつきの夢より覚めてまなうらに

さんざめく灯はいづこの街か 独活山強実

忌わしき線状降水帯須臾にして

あまたの命と笑顔呑みこめり 仲摩 直子

●10月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

9月14日㊦までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

㊦ 役場総務課広報・秘書係(☎ 82-1231)

試験・募集

自衛官採用試験

【第2回予備自衛官候補非常勤自衛官コース】

▼試験日 男子Ⅱ9月30日Ⅱ、女子Ⅱ10月1日Ⅱ

▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐屯地、陸上自衛隊福岡駐屯地など

▼受付期限 9月14日Ⅱ

Ⅱ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所
(☎0948-22-4847)

(有)九州パーク運輸正社員募集

添田町貸工場を使用する九州パーク運輸が社員を募集します。

▼勤務地 (有)九州パーク運輸添田工場

▼募集人数 男性2人、女性1人

▼勤務内容 男性Ⅱ木材の選別、切削、破碎(重機・機械操作あり) 女性Ⅱ事務(エクセル・ワードあり)

▼勤務時間 8時～17時

▼応募資格 添田町在住の18歳～50歳で、普通自動車免許を有する人(車で通勤できる人)

▼受付時間 平日8時～17時(電話にて随時受付、後日面接)

Ⅱ (有)九州パーク運輸添田工場
(☎41-7005)

添田町社会福祉協議会 契約職員募集

▼勤務地 クアハウス

▼募集人数 1人

▼必要資格 普通自動車免許

▼勤務時間 ①8時30分～17時30分 ②12時15分～21時

▼給与 月額14万8000円～

※詳しくは問い合わせください。

Ⅱ クアハウス(☎82-5061)

しゃくなげ料理人募集

地産地消の食材を使って創作料理を作る楽しみを味わってくれる人を募集します。

▼職種 料理人(パート)

▼時給 1300円～

▼勤務時間 10時～19時(週休2日)

▼応募資格 55歳以下

※通勤手当あり、各種保険あり。Ⅱ しゃくなげ荘(☎85-0123)

県営住宅入居者募集

▼募集住宅 県内に所在する県営住宅(募集対象団地や募集戸数などの詳細は募集案内書を確認ください)

▼募集案内書の配布と受付期間 9月27日Ⅱ～10月5日Ⅱ

子育て

「子育て応援の店」に行こう

県では、子どもや子育てを社会全体で応援し、安心して子育てできる社会づくりを進めるため「子育て応援の店」を募集・登録し、18歳未満の子どもがいる子育て家庭に、ミルクのお湯の提供、



▼募集案内書配布場所

役場住環境整備課、県内の各市役所・町村役場、公社管理事務所田川出張所ほか

Ⅱ 福岡県住宅供給公社県営住宅管理部(☎092-761-8029)

「子供たちにおいしい給食を、学校給食調理員を募集します」

町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します。

▼勤務日 月に10～15日程度

▼勤務時間 9時～16時30分

▼賃金 月額6000円

▼募集人数 2～3人程度

※詳しくは問い合わせください。

Ⅱ 教育委員会学校教育課教育管理係(☎82-5963)

Ⅱ 福岡県土地家屋調査士会

(☎092-741-5780)

保健師・管理栄養士が個別健康相談に応じます

▼とき 9月20日Ⅱ(受付15時～16時)

▼ところ クアハウス

▼内容 健診

結果や食生活、栄養改善に関する

ことなど、気軽に相談し

てください



Ⅱ 役場保健福祉環境課健康対策係(☎88-8111)

お菓子や粗品のプレゼントなどのサービスを提供しています。また、事前の利用登録(無料)で、登録者限定のサービスを受けることができる「子育て応援パスポート」を発行しています。

Ⅱ 福岡県「子育て応援の店」事務局(☎092-761-4322)

ひとり親家庭のお子さんの進学を応援します

母子家庭、父子家庭、または寡婦が扶養しているお子さんの進学に必要な資金の貸し付けを行います。

▼対象者 ①母子家庭の母または父子家庭の父で20歳未満の児童を扶養している人 ②母子家庭の母、父子家庭の父に扶養されている児童 ③かつて母子家庭の母であった人(寡婦) ④寡婦に扶養されている子 ⑤配偶者と死別または離別した40歳以上の配偶者のいない女子で、母子家庭の母および寡婦以外の人

▼貸付金の種類 ▽修学資金Ⅱ 高校、高等専門学校、短大、大学、大学院または専修学校に修学させるために必要な資金▽就学支度資金Ⅱ小学、中学、高校、高専、短大、大学、大学院または専修学校に修学

させるために必要な資金 ※貸し付け限度額は学校種別によって決まります。

Ⅱ 田川保健福祉事務所(☎42-9315)

ひとり親家庭などが対象 高等職業訓練促進給付金

ひとり親家庭の母または父が就職に有利な資格(看護師、准看護師など)を取得するために、1年以上養成機関(看護学校など)で修業する場合、修業中の期間(上限36月)と修了時にそれぞれ給付金を支給しています。

▼対象者 次のすべてに該当する町内在住のひとり親家庭の母または父 ①所得が児童扶養手当の支給対象の水準 ②養成機関で1年以上修業予定 ③仕事または育児と修業の両立が困難

※支給額など詳しくは問い合わせください。

Ⅱ 田川保健福祉事務所(☎42-9315)

相談

住宅に関する無料相談

宅地・建物の取得、相続・贈

Ⅱ 福岡県保健医療介護部医療指導課(☎092-643-3273)

ひとり親サポートセンター 養育費相談

養育費に関する相談に対応するため、養育費110番(弁護士による集中電話相談)が行われます。相談は匿名でも受けられますので、ささいな事でも気軽に電話してください。

▼とき 10月27日Ⅱ10時～16時

▼相談ダイヤル ☎092-724-2644

▼相談料 無料

Ⅱ ひとり親サポートセンター(☎092-584-3931)

教育のひろば

●放課後自主学习教室「英峰日進塾」

家での学習習慣を身に付けることは、子どもたちの学力の定着には大切なことです。町では、放課後の学習習慣のきっかけになるよう、自主的に勉強する場として「英峰日進塾」を行っています。英峰日進塾では、添田小学校5、6年生と添田中学校1、2年生を対象に毎週水曜日の1時間、添田町民会館でPTAやシニアパワーアップ塾の皆さんに見守りスタッフとして参加してもらい、福岡県立大学生に学習指導を受けています。分からないところは教えてもらい、集中できる学習空間をつくることで、子どもたちの勉強意欲を高めていきます。途中からでも参加できますので、添田町教育委員会学校教育課まで連絡してください。

○添田小学校PTAの方々へのお礼

添田小学校は学校施設も古くなり、順次補修を行っています。まだまだ修繕する箇所があります。そのよ



←校舎の内壁を塗るPTA役員

うな中、添田小学校PTAの皆さんが、1階昇降口付近の内壁などの塗装を行ってくださいました。この場を借りて、お礼申し上げます。

町内の小中学校は、半数が築40年以上経っており、老朽化が著しい状況です。学校施設の建て替えなども議論していますが、現在学校に通っている子どもたちのためにも、安全な教育環境を提供できるよう努力してまいります。

●秋の運動会

スポーツの秋になり、町内4つの小学校で運動会が開催されます。子どもたちの練習の成果をぜひご覧ください。

- ▷9月16日Ⅱ 津野小学校・ひかり保育園・地域合同運動会(予備日:9月23日ⅡⅡ)
- ▷9月23日ⅡⅡ 中元寺小学校・たから保育園・地域三者共催運動会(予備日:9月30日ⅡⅡ)
- ▷9月30日Ⅱ 落合小学校・くるみ保育園 保・小合同運動会(予備日:10月7日ⅡⅡ)、真木小学校区運動会(予備日:10月4日ⅡⅡ)

Ⅱ 教育委員会
学校教育課(☎82-5963)

人の動き

●人 口	10,005 人（－20人）	●出生	4 人
●男 性	4,717 人（－12人）	●死亡	9 人
●女 性	5,288 人（－8人）	●転入	13人
●世帯数	4,758 世帯（－2 世帯）	●転出	28人

相談

●心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
9月18日☎、10月2日☎

●補聴器相談（役場ロビー）
9月12日☎（13時～）、14日☎（15時～）

●無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
9月11日☎、10月9日☎

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）

●こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
9月11日☎（10時～）、27日☎（14時～）

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）

●女性の健康相談・不妊相談（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）

9月5日☎、10月3日☎（13時30分～16時30分）
☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎ 0948-29-0277）

事件事故発生状況

7月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
オートバイ盗	0（±0）	3
性犯罪	0（±0）	0
車上ねらい	0（－1）	0
空き巣・忍び込みなど	0（±0）	1
7月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件＋人身）	15（±0）	126
死亡者	0（±0）	0
負傷者	0（－1）	27

納期限のお知らせ

- 10月1日☎が納期限です
 - ▷固定資産税（3期）
 - ▷国民健康保険税（3期）
 - ▷後期高齢者医療保険料（3期）

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）

筑豊地区障害者雇用促進面談会

- ▶とき 10月19日☎13時から受付開始
 - ▶ところ のがみプレジデントホテル（飯塚市）
- ☎ ハローワーク田川（☎ 44-0292）

●クアハウス「ハピネス」 秋の運動教室

- とき 10月9日☎～12月21日☎
 - ①11時～12時 ②14時30分～15時30分
 - ダイエット・筋力アップ教室 毎週☎・☎
 - 腰・肩・膝痛予防教室 毎週☎・☎
 - 参加費 無料（施設使用料は有料）
 - 定員 各教室30人程度
- ☎ クアハウス「ハピネス」（☎ 82-5061）



- ▼木もくまつりIN英彦山
子どもから大人まで、木のおもちゃ遊具、木工体験、チェンソーカービング実演など「木」をテーマに楽しみながら学べるイベントです。
- ▼とき 9月15日☎、16日☎
10時～16時
- ▼ところ ひこさん花工房
- ▼内容 木のおもちゃ遊び、木のプール、ピタゴラ装置、ボルダリング、チェンソーカービングなど
- ▼入場料 大人300円、子ども100円、3歳以下無料

イベント



地域おこし協力隊通信 Vol. ⑤

7/28 ジビエ料理などを販売 大刀洗枝豆収穫祭

大刀洗町地域おこし協力隊のシーモアさんからお誘いいただき、赤村・筑前町の地域おこし協力隊と共同で「大刀洗枝豆収穫祭」に出店しました。添田町のブースでは、ジビエ肉を使ったメンチカツと英彦山サイダーを販売し、多くの人に好評いただきました。久しぶりに3人揃って出店し、天気にも恵まれ、ダンスステージやスイカ割りなどのイベントも盛りだくさんの中、町や特産品のPRができ、楽しい時間を過ごすことができました。



8/5 楽しく自然に触れました 夏野菜収穫イベント

突き刺すような日差しの下、今回はゴーヤ、きゅうり、オクラ、なすなどの夏野菜が採り放題の企画で、10名の方に参加いただきました。野菜が出来る物語を聞き、畑の空気、添田町の赤土や太陽に向かってすくすく育つ植物や野菜、虫たちに触れてもらいました。「今まで、野菜嫌いだった子どもたちに変化が見られ、良い経験ができて良かったです」という声をいただき、とても嬉しく思いました。皆さんの笑顔が印象的で、素敵な時間を過ごしていただけたかなと思います。次回は秋に開催予定です。



※事前に電話で要申し込み。
☎ 人に優しい町・田川を作る会事務局（☎ 42－9307）

お知らせ

田川医師会地域住民公開講座「認知症と睡眠障害」

- ▼とき 9月29日☎ 14時30分
- ▼ところ 福岡県立大学（田川市）
- ▼定員 462人（先着順）／入場無料
- ▼演題 「睡眠の改善が認知症の予防や治療につながる」／久留米大学副学長・医学部長 久留米大学神経精神医学講座 教授 内村直尚先生
- ▼申込方法 郵便番号、住所、

ありがとうございます
（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼棚田智也（中津野）▼近重優（下津野）▼（故）佐々木キク（下落合）▼（故）川越常雄（添田中）▼木下英次



英彦山スロープカーでは、9月17日☎の敬老の日に、65歳以上の利用者（先着 100 人）を対象に、英彦山がらがらをプレゼントします。日ごろの感謝の気持ちを込めて、家族みんなで初秋の英彦山で空中散歩を楽しみませんか。
※年齢を確認できるものが必要です。
☎ 英彦山スロープカー電車運行部（☎ 85-0375）



- と保護者／入場料無料
※入場には整理券が必要です。詳しくは問い合わせください。
☎（公社）田川法人会（☎ 45－8005）
- 陸上自衛隊飯塚駐屯地創立52周年記念事業
- ▼とき 9月24日☎休 9時～14時30分
- ▼ところ 飯塚駐屯地
- ▼内容 記念式典、観閲行進、訓練展示、装備品展示・試乗、音楽演奏など
- 陸上自衛隊飯塚駐屯地広報室（☎ 0948－22－7651）
- 筑豊フェア2018
筑豊地域15市町村の自慢のグ

☎ 県庁がん感染症疾病対策課難病対策係（☎ 092－643－3267）

木造住宅の耐震向上セミナー

- ▼とき 10月6日☎14時～17時
 - ▼ところ 飯塚市役所
 - ▼内容 耐震改修補助制度や木造一戸建て住宅の耐震診断・補強方法について解説します
 - ▼定員 100人程度／料金無料
- ☎（一社）福岡市耐震推進協議会（☎ 092－724－7744）

英彦山修験道館休館

収蔵品燻蒸消毒業務のため
▼とき 10月1日☎～4日☎
☎ 役場まちづくり課文化財係（☎ 82－5964）



山の日、修験の山を走る

国民の祝日「山の日」の8月11日、英彦山参道駆け上がり大会が開催されました。3回目となる今回は、県内外から訪れた約270人が参加。銅鳥居から英彦山神宮奉幣殿まで高低差160メートル、全長800メートルの石段の参道を激走し、タイムを競いました。参加者は、急な傾斜が続く修験道の山の石段に悪戦苦闘の様子でしたが、参道沿いからの声援を受けながら、ゴールを目指していました。大会には、そえだまち観光大使の女優・熊谷真実さんも応援に駆け付け、参加者を激励しました。



町長室 広報そえだ

▼9月長月。8月22日に3期目がスタートして10日あまりたった。これまでのまちづくりを、今一度考えてみた。少子高齢化と真ん中で、人口減少に歯止めが、かからない。多くの人は、「仕事がないから」だと言う。「仕事がない」とは何なのだろうか。▼農業では、耕作放棄地が増えている。耕作放棄地とは、活用できるにもかかわらず作り手がいない農地である。農業は今、担い手が不足している。後継者不足は深刻である。仕事はある。町では、このことに着目し、数年前から農業後継者育成の「そえだまち就農実践塾」を行っている。後継者不足には寄与しているが、耕作放棄地のスピードには追いつかない。他市町村では、海外からの農業研修生を受け入れ、しのいでいるところもある。また、これまでは、農業の兼業として土木建築業が多かった。公共事業は少なくなったと言えども、土建業も仕事がある。しかし、人手不足と聞く。昨今の災害においても、対応できない状況であるという事態が生じている。

▼同じように、仕事はあるが成り手がいないのが、製造業やサービス業である。我が町に工場のある明太子風味のせんべい「めんべい」を製造している、山口油屋福太郎さんの従業員確保の戦略は素晴らしい。女子ソフトボールチームの創設である。有望な若い女子ソフトボール選手を従業員として雇用し、仕事とソフトボールを支援している。現在、30名近くが雇用されている。女子ソフトボールチームがなければどうなっていたのかなどを考える。▼また、少子高齢化社会では、看護や介護を担う人材が不足している。これらを考えたとき、「仕事がない」のではなく「就きたいと若い人が考える仕事がない」ということではないだろうか。となると、進める施策も今一度考えなければならぬ。仕事はあるのに若者が来ない。それには長期戦略として、若者などが持つ、無意識の意識である世の中の職業序列、つまり都会の仕事が上で、地方の仕事は下であるというような、間違った？若者の仕事観を変える必要がある。なかなか、一自治体では難しいのかと思う。▼全国各地も行っており、添田町も力を入れている情報発信である。田舎での仕事の楽しさ、農業・林業の楽しさ、子育て環境の良さ等アピールし、若者等の意識に食い込む事である。緊急に対処しなければならぬ状況であるが、根本的な問題としては、少子化の状況を打破することであろう。若者が来れば少子化も止めることが出来る。まちが活性化し、維持・継続する。「まち」の文化と歴史が次の世代へと引き継いでいくということである。しかし、このような議論だけではなく、また、問題指摘だけではなく、現実を見据え、施策等考え実行しなければならぬ。道は長く険しい状況だが、少子高齢化問題はしっかり考え、取り組む必要がある。3期目のスタートで思った一つである。